

自治ひょうご

1669号

2025. 3. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 1日 県本部女性部・臨職評合同学習会 (ひょうご共済会館)
- 6日 2025春闘宣伝行動 (主要駅ターミナル)
- 8日 県本部卓球大会 (八鹿総合体育館)
- 8日 社会福祉協議会関係労組交流会 (播磨ブロック事務所)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

シリーズ 尾西が斬る! Vol.2

一刀亮談

いっとうりょうだん

1 大規模災害に対応できる人員配置

今回のシリーズでは、阪神淡路大震災から30年を期に、あらためて災害時における自治体の役割、そして私たち労働組合としての取り組みを考えていきます。

私たち自治体で働く職員は、いざ災害が起これば即座に対応しなければなりません。しかし、現状の人員不足の中で、30年前と同規模の災害が発生すれば、各自治体は対応できるのでしょうか。

30年前は、現業職場の存在も大きく、災害ゴミの撤収や仮設トイレのし尿収集、水の確保や避難所運営などに対応してきました。

また、震災を経験した神戸市では、これまで多くの災害、震災に見舞われた自治体に対し、多くの支援を行ってきています。昨年発生した能登の大震災においても、震災ゴミの収集等の支援に多くの現業組合員が派遣されました。

私も東日本大震災の際に、宮城県に支援に入りましたが、阪神淡路大震災では、全国から自治体の仲間が1ヶ月で250人以上の支援をいただきました。

しかし今、兵庫県内の各自治体では、業務委託や退職者不補充、会計年度任用職員の活用などで、現業職員が年々減少しているのが現状です。さらに、事務職もRPAやAIの導入により、より人員が削減され

る傾向にあります。このような状況では、大規模災害はおろか、各地で頻発する豪雨災害などにも対応できないことが明白です。

阪神淡路大震災から30年、兵庫県のキャッチフレーズは「うすれない記憶はない。つなぐべき決意がある」です。

大震災を経験した被災地で働く私たちは、人員不足が常態化した現状に異を唱え、改めて災害に対応でき

る自治体となるよう、人員確保を要求する役割を果たしていかなければなりません。市民の安心・安全を守るため、自治体当局に対して現場実態を突き付け、人員体制の整備を要求できるのは、自治体単組以外にありません。単組は春闘期から職場点検に入り、要求を確立してください。

次回以降、6月の人員確保闘争の要求等について触れていきます。



大井中央委員

藤原中央委員

山下中央委員



川口中央委員

阪本中央委員

木南中央委員

県本部は第217回中央委員会を2月7日に神戸市内で開催した。春闘方針をはじめとする5つの議案を審議し、6人の中央委員から発言があった。

報告・議案提起のあと、質疑では、伊丹市職労の山下中央委員から「地域手当の全国状況について、県本部の情報提供へのあり方」への質疑があった。佐用ひまわり労組の木南中央委員は「加東市の会計年度で制度を逸脱した業務の高度化や加西市の地域手当支給60歳以降の昇給改善」についてブロック臨職評として

の報告。豊岡市職労の藤原中央委員は「今回は会計年度の4月遡及勝ち取った」と賃金改善の報告があった。尼崎嘱託労組の阪本中央委員は「委託時の継続雇用を確保。また、当局に給料表の問題点を認識させた」と会計年度の処遇改善の取り組み報告。豊岡病院労組の大井中央委員は「病院経営が厳しいが、地域手当は支給させていく」と交渉への決意を述べた。いたみ指労の川口中央委員は「不利益変更となる新給料表は導入させない」と処遇改善の取り組み報告があった。

ホームページをみてくれて
ありがとうキャンペーン
正解者の中から10名様
淡路島の特産品が当たる!
03.01-03.31
組合員専用ページはユーザー名・パスワードが必要です。詳しくは、単組役員にお問い合わせください。

自治労本部は1月28、29日の2日間、第167回中央委員会を東京の会場からウェブで開催し、2025春闘方針、当面の闘争方針などを決定した。参加者数は、中央委員、傍聴者の合計約500人(兵庫県本部から11人が参加)。

冒頭、第27回参議院選挙比例代表組織内候補予定者の岸まきこ参議院議員があいさつを行い、その後、一般経過報告、2024現業・

県本部中央委員会

地域手当、処遇改善などの課題を共有

次につながる取り組みへ

自治労中央委員会

春闘が本格始動 再任用の賃金改善を



石上委員長の団結ガンバロウ

これら議案に対し、再任用職員と会計年度任用職員との均衡、定年延長職員と暫定再任用職員との賃金水準の格差解消が人員確保の観点からも解決が必要との意見が、多くの県本部から出された。

2日間にわたる質疑・討論を経て、いずれの議案も圧倒的多数の中央委員の賛成を得て可決された。

春闘方針を決定したことを受けて2025春闘が本格的に始動する。すべての単組で要求書提出と労使交渉、協議を行い、課題の前進をめざす。

これら議案に対し、再任用職員と会計年度任用職員との均衡、定年延長職員と暫定再任用職員との賃金水準の格差解消が人員確保の観点からも解決が必要との意見が、多くの県本部から出された。

2日間にわたる質疑・討論を経て、いずれの議案も圧倒的多数の中央委員の賛成を得て可決された。

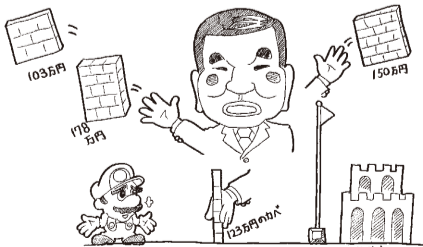
春闘方針を決定したことを受けて2025春闘が本格的に始動する。すべての単組で要求書提出と労使交渉、協議を行い、課題の前進をめざす。

しこう

東京都や兵庫県知事選挙でSNSの情報が猛威を振るったことは、皆さんご承知のとおりである。特に20、30代の若年世代がSNSの情報をもとに投票したという▼昨年千葉で開催された全国大会では、台風接近の予報が出たため、神戸に帰り翌日からウェブで参加することになった▼しかし新幹線が静岡駅で運休となり、改札口にはテレビ局が来ていた。避けようとしたが捕まった。4時間後ようやく宿を見つけ、一息ついて携帯を見つくとインスタビュー映像がSNSで拡散されていた。その後、多くの組合員から「えらいこっちゃ、静岡」を見ましたよ」と言われた▼本紙は月2回発行だが、記事の内容について、組合員から意見や感想などを聞くことは、ほとんど皆無である。多くの組合員が読んでいると思いたい、ほとんどの組合員が読んでいないとなると「ホンマ、えらいこっちゃ」である。

いまいち座

コロコロ設定変えんといて



iNaki

岸まきこ参議院議員活動報告

選択できる社会の実現を

～選択的夫婦別姓制度確立に向けて～



1月24日からの通常国会で実現に道筋を付けた...

議員間討議を行い、議論を進めており、2月12日の会議では連合から実態調査に...

法務大臣の諮問機関である法制審議会が1996年に...

める提言を出しています。通称使用の拡大では問題...

障害者問題を考える兵庫県連絡会議第44回総会及び...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「交通費が全額支給されない」などの課題を解決する...

自治労本部総合政治政策局の佐藤久美子政治局長より「組織内議員の必要性と...

「大阪・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...



ワークショップではモデル賃金を作成

自治労本部総合政治政策局の佐藤久美子政治局長より「組織内議員の必要性と...

「交通費が全額支給されない」などの課題を解決する...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

臨職評学習合宿

なぜ組織内議員が必要なのか

私たちの職場実態を国会で発言

県本部臨職評は全単組代表者会議と学習合宿を1月...

「交通費が全額支給されない」などの課題を解決する...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

連合兵庫シンポジウム

阪神・淡路大震災30年

忘れるてはならない教訓を次世代に



シンポジウムの様子

はじめに、元兵庫県知事の井戸敏三さんから「大震災を振り返る」復興と防...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

「阪神・淡路大震災30年、忘れるてはならない教訓を次世代に...

こくみん共済 NEWS 5120A034

自治体職員の交通事故に大きな力を発揮する

じちろうマイカー共済 自動車総合補償共済

交通事故による、まさかの失職に備えを!

公務員は交通事故を起こしたことにより、失職することがあります。一瞬の不注意であ...

このような事態を防ぐために、じちろうマイカー共済があります!

こくみん共済 (全労済) 自治労共済 推進本部

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。

ご不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。

まさか自分が、事故を、起こすなんて...

